

愛道

第92号

発行・平成19年1月1日

社会福祉法人 足羽福祉会



- ・ 新年を迎えて **2** ページ
- ・ 共に生きる - 生きがいを見つけるヒント - (愛全園) **3** ページ
- ・ 思いを描こう - 絵画クラブ紹介 - (足羽更生園) **4** ページ
- ・ 「園訓」を通して伝える (足羽ワークセンター) **5** ページ
- ・ 願いを育む家 ～ひまわりの家活動～ (足羽学園) **6・7** ページ
- ・ 子どもに何を願いますか 親・保育士の思いから (足羽東保育園) **8** ページ
- ・ ご縁をいただいて - 朝のお参りを通し - (足羽利生苑) **9** ページ

嶺南方面でみかん狩りや遊覧船を楽しみました。お天気にも恵まれ大満足の日でした。

～ 日帰り旅行にて～
(足羽学園)

安心と笑顔を届ける

福祉サービス

―ハード面とソフト面の充実を目指して―

社会福祉法人 足羽福祉会 理事長 高村 利幸

新年明けましておめでとうございます。

昨年は介護保険法改正、障害者自立支援法施行によって、食費等で自己負担が導入されるなど、利用者・ご家族を取り巻く環境が大きく変化しました。また八月に厚生労働省を中心とした研究班より出された「社会福祉法人経営の現状と課題」では、社会福祉法人経営のあり方そのものも改革のたたき台として議論されました。昨今の社会保障制度大改革は、私たち国民に安心どころか、先立つ不安を助長させるような状態にさせています。

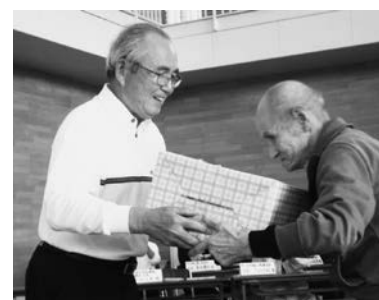
しかしこのような時代、このような状況こそ、足羽福祉会が皆さまでにできることは何だろうかと自問いたしますと、やはり私たちが皆さまでにできる

一番のサービスは「安心」をお届けすることだと思っております。この「安心」について、ハード、ソフトの両面で今年の目標について考えてみました。

まずハード面での安心とは何でしょう。在宅で介護していらっしゃるご家族にとって、利用できるデイサービスやショートステイ、入所の枠が広がって、より利用しやすくなるのが考えられます。施設で生活されているご本人にとつては、施設的环境や設備そのものが安全で使いやすいうものでなくてはなりません。これらに対応すべく、足羽利生苑では平成十九年度四月の完成をめどに増築工事を開始いたしました。デイサービスのエリアを増築し、認知症対応のユニットケア体制をしい

るよう準備していきます。また足羽ワークセンターでは地域の中で働く場所やグループホームを増やし、ご本人が自立生活への意欲を高めていくための環境整備に取り組んでいきます。

次にソフト面での安心とは何でしょう。これはどんな時代、状況にあつても「人材」であると私は確信しております。皆さまから「あの施設の、あの職員なら安心して任せられる」と信頼されるような職員を育成することが何よりも大切との思いで、数年前から人材育成の制度に力を注いでまいりました。いつも笑顔で明るく接し、お一人おひとりの境遇や状態を十分に理解し、ご本人の思いに沿った支援計画を立ててサービス提供を行い、さらにサービス向上のため



利用者の方に記念品を贈る
高村理事長

めの不断の努力を惜しまない、そんな職員を一人でも多く輩出できるよう、今年も取り組んでまいります。また皆さまからの不安をきちんと受け止めて迅速に対応するための苦情解決制度、リスクマネジメント体制といった人材活用のシステム構築にも力を入れてまいりますし、今年は社会的信頼を頂きながらさらなる資質向上を目指すための第三者評価制度についても受審いたします。

私たちの取り組みに対する皆さまからの最大の評価、それは皆さまの「笑顔」に触れることです。今年も誠心誠意取り組んでまいりますので、どうかご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

共に生きる

— 生きがいを見つけるヒント —

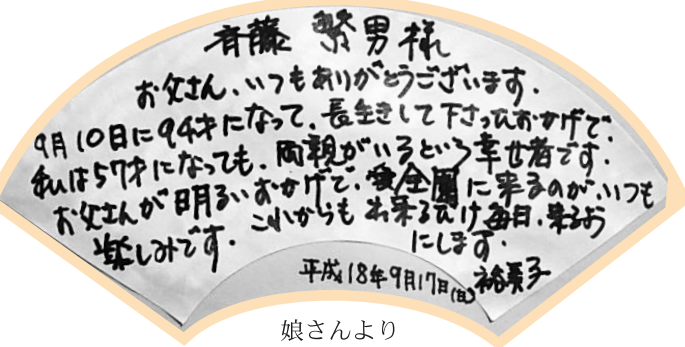


利用者の方が、どんなことを望んでどんなことを思いながら毎日を過ごされているのか…。私たちはお世話をさせていただく中で、見落としがちなその思いにだけ応えていくことができるでしょうか。また、その思いをいかにして聞き出ししていくことができるのでしょうか。

今回は敬老会にて、当日ご家族から、利用者の方へ寄せられたメッセージとともに、職員のことを紹介します。

〈男同士でじっくり〉

娘さんより



斉藤さんも九十四歳になられました。けれどもお元気でうれしく思います。時々、斉藤さんの思いをうまく受けとることができず、気分を悪くさせてしまうこともあります。そんなときは、これから男同士、じっくり話をしたいと思います。その中で、少しでも思いに添えるようなお手伝いができたらと思っています。娘さんも「幸せ」とおっしゃってられます。これから面会に来られる奥さんと娘さんを、笑顔で迎えられるよう、元気で毎日をお過ごしください。

担当職員 坪田 真輝

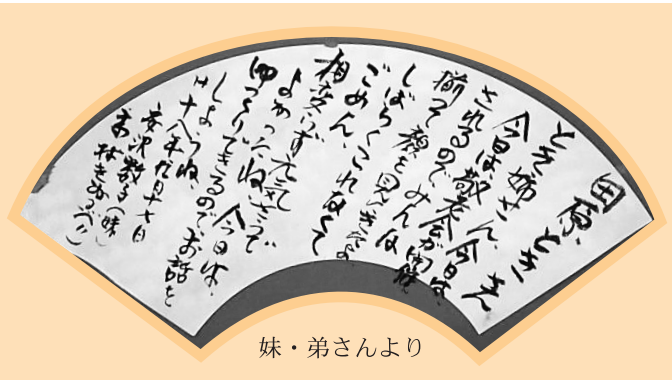
〈楽しみの多い日々を〉

田原さんの一番の魅力と言えは、「笑顔」だと思っています。ほたはたとした頬にはピンクの頬紅を、小さくて厚みのある口唇にもピンクの口紅を塗ると、その笑顔が一層明るく広がります。

これからの、いつまでも女性らしくおしゃれをして、喫茶店で大好きなばた餅を食べたり、皆さんと話をしたりしましょう。そんな楽しみの多い日々を送れるように、お世話させていただきます。と思います。

※やわらかい

担当職員 岡田 紅



妹・弟さんより

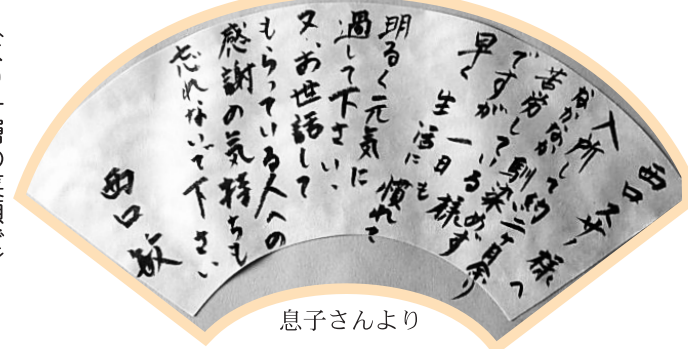
〈より一層の笑顔で〉

入所されてすぐは、なかなか園の生活になじめず、心細く寂しい思いをされていた。

今回紹介させていただいた他にも、ご家族からのメッセージをいくつもお預かりしています。一つひとつ読ませていただくうちに、まだまだ至らないケアに気付かされ、利用者の方やご家族とのコミュニケーション・信頼関係の大切さを改めて感じるようになりました。

“利用者の方一人ひとりが今何を望んでおられるのかをくみ取り、その思いに寄り添ったケアをしていくこと”それが、幸せ・日々の充実につながるのではないかと思います。これからも、利用者の方が笑顔で過ごしていただけるよう、精一杯努力していきたいと思っています。

担当職員 土肥 悦子



息子さんより

たと思います。今は、だんだん慣れてこられたのか、思ったことを少しずつですが、私たちに伝えてくださるようになりました。

時々ですが、職員と一緒に園内を散歩し、お仏壇に参ると「気持ちがお楽になった」と、とてもよい表情を見せてくださいます。また、ご家族が面会に来られたときは、より一層笑顔が輝きます。そんな西口さんの笑顔に、私たち職員はいやされています。

これからも、近くへ散歩に出掛け、いろいろな話をする中で、たくさんの笑顔が引き出せるようお手伝いさせていただきます。と思います。

足羽更生園では週二回クラブ活動を行っています。外部の専門的な講師の方を招き、利用者の方の楽しみも広がり、リフレッシュの時間となっています。また、講師の方と取り組むことで、ひとつひとつの作品に個性や独創性が生まれています。

今回は絵画クラブをご紹介します。



思いを描こう

ー絵画クラブ紹介ー



絵画クラブでは月二回、講師の先生が来て下さっています。先生が来園すると玄関まで迎えに行き、先生の力バンをうれしそうに運ぶAさん。長年講師を務めてこられた林先生が健康上の理由で来園できなくなったとき、文字で意思表示をするAさんはしきりに「はやし」と書いてなぜ来ないのか職員に聞いてきました。他のメンバーも寂しそうにしていました。林先生の紹介で畑先生が来て下さることになり、今メンバーは絵を描くことを楽しんでます。

今は一枚の紙を色で塗りつぶすことに熱中しているAさんは、何枚も塗りつぶし、



全部帰省時に大切に持ち帰っています。毎回いろいろな職員の顔を描いているBさんは、クラブが終わると照れながら職員に絵をプレゼントしています。きれいな色使いで抽象的な絵を描いているCさんは、情緒的に落ち着かないときには先生の来園が気分転換になっているようです。調子が良いと数字や女性の絵を描くDさん。誰を描いたのか尋ねると「紫色の空！」と答え、背景も丁寧に描いていることを気付かせてくれます。

利用者の方それぞれの作品に個性があり、とてもおもしろいです。職員も毎回わくわくしながら、どんな作品ができるのか楽しみにしています。



集中!!(左) 私の絵も撮って!(右)

足羽更生園
絵画クラブ担当 斎藤 紀子

以前、芸術フォーラムの研修に参加した際「利用者の方の描く絵は真似ができそうできない。利用者の方の心の中を表現しているものであり、尊いものである」と学んだことがあります。

言語などでの表現が充分でない分、絵に表れてくることもあると思います。描くことを楽しみながら思いを絵の中に表現してもらえたら・・・と思っています。

また、平成十八年四月から施行された障害者自立支援法で、日中の活動をいかに展開していくかが問われている今、現在行っているクラブ活動をどのように充実させ発展させていくかが今後の課題です。

お正月



いくつになっても正月は待ち遠しいものですよね。

正月にしたいこと、思い出など、更生園の皆さんに聞きました。

*利用者編

- ・お餅を食べる。おそばを食べる。
- ・ごちそう!
- ・昔はすぐろく、カルタをしました。
- ・宝くじを当てて、どこかに行きたい。いくつになってもお年玉が欲しい。

*職員編

- ・大安禅寺に行つて、カウントダウン花火を見たこと。とても綺麗だった。
- ・年越しの遊園地。寒かった。でも観覧車からの花火はロマンティック。
- ・いつも元旦の早朝には地元神社にお参りに行きます。ごっつお食べて酒飲んで寝る。



「園訓」を通して伝える

私たちには自分の気持ちや
思いを伝えるときの方法の一
つとして、言葉があります。

「言葉で伝える方法」とい
えば、思いをそのまま話す、
手紙や電子メールのように文
章化する、また、短歌や俳句
のように短い文章で表現する
などさまざまです。

その中で「短い文章」に込
められた、足羽ワークセンター
としての願いを紹介します。



『私たちは生きがいと希望
を持ち明るく逞しく働こう』
これは、利用者の方と職員
のための園訓です。学校には
校訓、企業には社訓があるよ
うに、足羽ワークセンターに

も社会人の一員として、目標
を持つて仕事や生活を送って
ほしいという思いから作られ
ました。

足羽ワークセンターでは作
業支援を行っていますが、働
く目的とは何でしょうか。端
的に言えば生活するためでは
ないでしょうか。しかし、単
に生活のためだけではなく、

仕事は頂いているからできる
という感謝の気持ちを持ち、
仕事ができるからお給料がも
らえる、だから生活ができる
という喜びを知っていたとき、
一生懸命取り組んでほしいと
願っています。

次に「生きがい」ですが、
利用者の方に働く目的につい
て質問してみると『一生懸命



毎朝園訓を唱和して一日がスタートします

働いて就職したい』『家族に
楽をさせてあげたい』などの
目標や希望、『お金をためて
買い物や遊びに行きたい』と
いった楽しみを持つことなど
の意見がありました。

このような生きがいがある
ことで、気持ちに張り合いが
出て、明るく元気に生活した
り、仕事ができるのではない
でしょうか。

現実には明るく楽しいことば
かりではなく、厳しく辛いこ
ともたくさんありますが、こ
の園訓には物事を発展的・前
向きにとらえ、明るく積極的
になってほしいという思いが
込められています。

利用者の方の身近な存在で
ある私たち職員は、利用者の
方の生き生きとした表情や真
心、働く姿を見ると、なにも
のにもかえがたい喜びを感じ、
私たちも頑張ろうという気持
ちになります。また、逆も同
じことが言えるのではないで
しょうか。

今後共通した園訓を通し、
お互いを感じ、伝え合うこと
ができるよう願っています。

カヌー体験教室に
参加してきました！

平成十八年九月、水とのふ
れあいを通して、いろいろな
人とかかわることを目的とし、
北潟湖にてカヌーを体験しま
した。



風が気持ちいい～！



慣れた手つきでスーイ、スイ

足羽学園では、毎月第三土曜日に足羽ワークセンターのグループホームである『ひまわりの家』を利用して活動を行っています。将来、就労支援の対象者となる利用者の方に、地域で生活できるような力を身に付ける支援と余暇の支援をすることを目的にしています。

そこでは、その日の活動内容を事前にみんなで話し合っていて決めた活動を行います。今回は活動の様子や利用者の方々の頑張っている様子をお伝えします。

計画を立てよう！

『ひまわりの家』活動の一週間前になると、利用者の皆さんと足羽学園の会議室に集まります。そこでは、「パリオへ行きたい」「僕は電車のおもちゃを買うんだ」「サンドイッチを作ろうよ」など、いろんな意見がとびかっけます。時には意見がまとまらず、多数決になることもあります。計画を立てているときのみんなの表情はとても生き生きとしています。



したいことありすぎるな～!!

出発前のお約束

「もうみんなお部屋のお掃除すんだかな？」と職員の声とともに、みんな急いで掃除を終わらせようと手を早めます。少し雑なところもあります。

食材を買いに行こう！

すが、何とかオツケーが出ていよいよ出発です。

『ひまわりの家』に着くと、管理人さんに元氣よく「おはようございます。よろしくお願いします。」とみんなであいさつをし、近くのスーパーまで買い物に出かけます。

「トマトはどこにあるかな？」と職員が尋ねると、「こっちに大きいのあるよ」「こっちは三個で百円だって」などと、いろんな答えが返ってきます。

計算係のSくんは、計算機を片手にお金足りるかノートに書きながら考えています。

の家活動～



上手に料理ができるかな？

『ひまわりの家』に戻り、早速、料理の開始です。慣れない手つきで職員と一緒に野菜を切るHくん、おそろおそろですが勇氣を持って切っています。紅一点のCさんはさすが女の子、慣れた手つき



新鮮な野菜がいっぱいだね!!

支払い係のCさんは、不安そうな顔をしながらも財布の中からお金を取り出し、出した金額があっているかじっくりと考えています。「はいちようどね」と店員さんの声に、Cさんの顔がホッと笑顔が見られました。

笑顔の泉

今回は、利用者の日常生活の中で、思わず『につこり』としてしまった場面を紹介しします。

・お世話好きのAさん、職員が着替えを取りに行く前にいつのまにかBくんの着替えを持ってきて、ニコニコと得意げな表情。こちら『につこり』とありがとうを言います。

・小さい体でたくさんのお食器を運んでくれるCくん、食堂と厨房を何回も往復してくれます。その姿を見ているだけで思わず『につこり』としてしまいます。



お手伝い楽しいな!!



自分で作った料理の味はどう？

で切っています。
 食器準備担当のTくんは出来上がった料理をお皿にのせ、テーブルへと運びます。
 やつとので、すべての献立ができあがりました。お腹ペコペコのみんなは、味はともかくも自分たちで作った料理に満足しながら、何杯もおかわりしていました。楽しく喋りながら、すべてきれいにたらいあげました。



僕これがほしかったんだ!!

好きな物を 買いに出発だ!

みんなで協力して、お昼ごはんの後片付けがすんだら、パリオへいよいよ出発です。お店では、欲しいものを一人ひとりが時間をかけてじっくりと選びます。五百円のお小遣いの中での買い物だけに、「このゲームお金が足りるかな」「どれが新しいのかな」など質問の嵐です。楽しい時間はあっという間に過ぎ、「ひまわりの家」に戻ります。

後片付けも しっかりよね!

台所やリビング、トイレなどが汚れていないかみんなで確認し、掃除をします。そして、管理人さんに元気よく「ありがとうございます」とあいさつをして、足羽学園へと帰ります。みんな思い思いの表情をしています。何だか一回り成長したような気がします。



みんなで意見を交換しながら計画を立て、社会に出ていろんな人たちと触れ合い、そして自己決定や自己選択をする中で、少しずつ生活力を身に付けてくれたり、生きる喜びを学んでいただけたらと願っています。



今日は本当に楽しかったね!!



・天窓を閉めてくれるEくん
 ハンドルを一生懸命両手で回す姿はともかわいらしくて『にっこり』♡



うんしょ!! うんしょ!!

・Fくんの部屋に入ると、たくさんのズックと靴下が電車の車両のように並べてあります。本当に電車が好きなんだなと、思わず『にっこり』としてしまいます。



ピー!! 電車が発車します!!

これからもみなさんの微笑ましい姿をいっぱい見せてくださいな!!



●どのように育ってほしいですか●

- ①元気で明るくたくましい子
- ②思いやりのある子
- ③素直であいさつのできる子
- ④たくさんの友達を作ってほしい
- ⑤自分で行動できる子

●当園にどのようなことを望まれますか●

- ①外でのびのびと遊べるようにしてほしい
- ②季節を感じられる自然保育をしてほしい
- ③友達とのかかわりが多くもてるようにしてほしい
- ④楽しく安全に遊べる場所であってほしい
- ⑤信頼関係が築ける保育園がよい



子どもたちの元気な声や笑顔、愛らしいしぐさは大人の心をいやし、温かい気持ちにさせてくれます。

今回はそのような純真無垢な子どもたちへの親としての願い、保育士からの思いについてお伝えします。

*保育園入園の際、保護者の方に『お子さんがどのように育ってほしいですか。そのために保育園にどのようなことを期待しますか』について児童調査票に記入いただいております。その中から『ベスト5』をご紹介します。

子どもに何を願いますか

親・保育士の思いから

●保育士たちの『子どもへの願い』についての会話から●



Y保育士

子どもって、特に自然の中では夢中になって探索や挑戦して、いつも

一生懸命なところが素晴らしいね。子どもは可能性の芽をいっぱい持っていて、仲間で伸びていくし。そんな一生懸命な気持ちをずっと持っていて大きくなってほしいと思うわ。

私たちも、一人ひとりがその子の持ち味を発揮して、可能性が広がっていくようにかわっていかないとね。



K保育士

こんなにかわいい子どもばかりなのに、青少年犯罪が多くて悲しい気持ちになってしまふ。どんな境遇に出会っても力強く生きてほしいと思うわ。

保育園で子どもと過ごすときは、しっかりと抱きしめて頼りたり、体を優しく撫で『あなたが好きだよ。いつもそばにいるよ』ということをつづいてほしい。その思いを子どもが感じていれば、安心して前に進んでいくと思うけど。



M保育士

初めて自分の子どもを抱いたとき、ほんとに幸せで、

この子が健康で健やかに育ってほしいと心から願ったわ。でも、毎日の生活に追われ、子どもも大きくなるにつれ、私の思いはあれもこれもと子どもへの要求ばかりで、願いが悩みとなってしまった。それで、子どもとの関係もすれ違いばかりで。

そんなとき、いつも祖母が『子どもの言う通りでいいが。今のままで十分や』と言ってくれたおかげで、その度に子どもと優しい気持ちでかかわれたの。やっぱり健康でその子らしいことが一番やね。

子どもが産まれたとき、我が子へかけた願いとはどんなものだったのでしょうか。その思いを持ち続け、大人が子どもと真剣に向き合いかかわっていくことで、その子らしさは今まで以上に輝き、どんどん可能性を発揮し育っていくのでしょうか。

子どもたちの思い

生活の中で聞かれた子どもたちのかわいい会話をご紹介します。

(2歳児)

- *虫の鳴き声を聞いてカエルってどうやって鳴くか知ってるか？
- *ゲロゲロってなくの
- *コオロギは？
- *エーンエンってなくの



(3歳児)

- *子供動物園のカメを見てカメって赤ちゃんみたいやハイハイしてるもん。

*ラディッシュの芽が出たのを発見！

- ・おっきい芽やちっちゃい芽出てる！ あれうっ、まだ土の布団かぶって寝てるのもいるよ
- ・ほんとや。ねぼすけなんやな。



熱心にお経本を読む利用者の方々

ご縁をいただいて

一朝のお参りを通して



人にはそれぞれ心の支えがあります。それは、その人の人生を形作り、充実させるものではないでしょうか。毎日の日課の中に心の支えがある方もいらっしゃるでしょう。

足羽利生苑では日課の中に朝のお参りがあります。これは、明徳寺に嫁がれている事務員の梯さんによるものです。梯さんは自宅での日課であるお参りを利生苑でも利用者の方々と一緒に行っていきます。

今回は梯さんがどのような思いで朝のお参りをしているのかをご紹介します。

「おはようございます。お参りをしますよ。皆さん仏様のところへどうぞ！」で始まる朝のお参りの時間。ゆっくりと仏間へ来られると、必ず立ち止まってしっかり仏様の方へお辞儀してから、椅子に座られる利用者の方々。「ナマンダーブ、ナマンダーブ。あーありがたい」と、手を合わせ自然と口からこぼれる尊い言葉。「ようこそ、ありがとうございます。では今からお参りを始めます。皆さんと一緒にお願いします」（チーン、チーン）

このお参りの時間は、皆さんと一つになれる貴重な時間です。また私自身が今日一日の元気の源を頂き、自分というものを見つめることのできる時間でもあります。

背中から聴こえるお参りの声。これは皆さんが幼いころから家の中で聴いてきた音、声です。また人生を歩んでいく中で支えにされてきた、心と体に染み付いている声です。お参りをあげていると、皆さんのご苦労を感じたり、おかげさまの心を感じたりし、胸が熱くなることがあります。こんなもったいない機会を頂くようになったのは、ご縁あって、お寺に嫁がせていただき『ようこそ』『おかげさまで』『ありがとうございませ』の気持ちの尊さに気付かされたことからです。

毎朝仏間の扉を開けさせていただくには理由が二つあります。一つには、そこに仏様を道として人生を過ごされている皆さんがいらつしやるということ。そしてもう一つは、心と体に染み付いているお経を皆さんに忘れてほしくない、お参りの声を消してほしくないという強い思い



皆さんの思いが込められています

があつたからです。

お参りを通して気付かされたことは、この皆さん方がいらつしゃって、こうして私たちがいる。昔のご苦労があり、今こうやっていえることができる。人とは人や自然、さまざまな『もの』や『こと』に助けられ、支えられながら生きていくということに深く感じることでできました。

感じさせ、気付かせていただいた分、日々の生活の中で、人としてまた職員の一として、心のこもった温かい声、笑顔で人と接し、皆さんに優しい時間を過ごしていただけたら幸いです。皆さん、ありがとうございます。

足羽利生苑

事務員 梯 好美

利生苑ちよつと自慢

皆さん、アルカリイオン水をご存知でしょうか。健康にいいと言われており、まろやかで飲みやすい水です。

利生苑では、今年度からアルカリイオン水を作り出す浄水器を取り入れました。利用者の方やお客様にお出しするお茶、職員の飲み水として使われています。

利用者の方からは「この水うまいんやわー」という声をいただいています。また、よくこの水を飲んでいる職員は「なんだか健康になったような気がする」と言っています。実際どうなのかは、ぜひ皆さんご自身でお確かめください。利生苑に来てくだされば、アルカリイオン水でできた飲み物をお出ししますよ。



「いい水やわ〜」

みんなの広場



敬称略させていただきました。

充実した時間

実習直前まで、不安でいっぱいだった私。それをかき消してくれたのは、利用者の皆さんでした。初対面にも関わらず、優しく笑顔で声をかけてくれ、本当に嬉しく思いました。

実習中は利用者の方から学ぶことも多く、充実した時を過ごせたと思います。ここでの経験を活かし、さらに知識を深め、将来につなげたいです。

皆さんに会えたことを大切に

に、これからも頑張っていきたいと思います。

足羽ワークセンター実習生

倉本 裕妃



仲間との絆

実習初日から利用者や職員が温かく迎えてくれ、日々明

おばあちゃんのすゑぶくろ

風邪の
予防効果
バツグン!

お茶でうがい

緑茶や紅茶に含まれるカテキンという成分には殺菌作用があります。そのため、水でうがいをするよりも効果的な風邪予防ができます。また、のどが痛いなどの風邪の初期症状の悪化を食い止める効果も期待できます。手軽で効果的な健康法ですの、ぜひお試しください。



るく真剣に接してくれることに感謝しています。利用者の皆さんと同じ作業をし、共に気持ちを語り合いお互いを知っていくことで、とても素敵な絆が出来たと思います。

実習生としてという構えた姿勢ではなく、あくまで仲間として認め合える姿勢から、新たな学びが生まれるのだと思います。

今後この気持ちを忘れず、実習を真剣に取り組んでいきたいと思っています。

足羽ワークセンター実習生

宮腰 順子

できごと アラカルト

楽

しそうな競技が始まりますよ。

今

年も踊りました
「マツケンサンバ」



愛道を 読んで

愛道の魅力

愛道を読んでいると心が和みます。愛道の世界は、ただ単に活字で埋め尽くされているという単純なものではなく、そこには利用者の豊かな表情、人と人とのつながり、人間の温かさがあり、詠む人の心に語りかける魅力があります。

愛道は読むものではなく、目で見て心で感じるものだと思います。

仏教大学実習生

愛全園では、入浴時のお年寄りのドライヤーがけ、浴室から居室への移動のお手伝いをしていただける方を募集しています。興味のある方は、一度ご連絡ください。

〔時間〕

月曜日の午後

水・木・土曜日の午前

愛全園

ボランティア担当

中野・坪田まで



ボランティアさん募集



愛全園

お問い合わせ… TEL (0776)53-5411

譲ってください

使っていないおもちゃはありませんか？ブロックやパズル、ボードゲーム、自転車など。遊び盛りの学園の子どもたちに、ぜひ寄贈をお願いします。

事前に連絡をお願いいたします。

〔お問い合わせ〕

足羽学園

TEL 0776-

41-3120

担当 山下



デイサービスセンターでは、利用者の余暇活動の充実を図るために、お手伝いをしていただけるボランティアを募集します。手芸や囲碁・将棋のお相手、外出行事の付き添いをお願いいたします。

〔時間〕

月曜日から

土曜日の午後

愛全園デイサービス

センターまで

み

みんなで一生懸命綱を引いています。



バ

イキンマンと力を合わせて頑張るぞ！



し

っかりつかんだ布は離しません。



平成18年10月21日
足羽福祉会の
合同レクリエーションが
行われました。